

【札幌地区バスケットボール協会 U12 部会 総会】

U12部会長 齊藤 八起

こんにちは。札幌地区バスケットボール協会U12 カテゴリー部会長の齊藤八起です。本日は年度初め新学期の大変ご多用の中、U12 部会総会にお集まりくださり、ありがとうございます。私からは、「育成マインド」の理念を実現する運営・大会方式を目指すという、お集まりの全ての方で共有させていただきたい当部会の運営方針についてお話いたします。

私たちは、子どもたちのスキルアップだけではなく、主体的に楽しみながら継続することで「社会性」や「協調性」「人間性」など、子どもたちの一人の人間としての成長の機会、きっかけを生み出す部会でありたい。ここは、皆様はじめ多くの方に共感していただける部分だと考えます。

ところが、バスケットボールに限らずスポーツ活動において未だ体罰、暴力・暴言、ハラスメント行為が散見され、JBAからも健全なバスケットボール環境の整備が喫緊の課題とされています。後ほど研修を行います。まずは今年度の活動を迎えるにあたり、部会員はじめ全ての指導者と保護者の方とのインテグリティの共有の必要性を強く感じています。と言いますのも、コロナ禍明けの昨年度、U12 カテゴリーでは実に様々な問題、課題が持ち上がったからです。

例えば、指導者だけでなく保護者による暴言、過度な練習量や活動時間による影響、主催大会への参加や選手起用のあり方、ルールや規約違反、理由に疑問の残る所属や移籍などです。これら多くの課題の背景の一つには大人による勝ちたい、勝たせたい、より強いところでやりたい、やらせたい、なんとしても全道全国に出たい、出なければならないといった所謂勝利至上主義ととられる過剰な思いがあると思われる。

スポーツそのものには勝ち負けがあり、そこに夢中になることが楽しさの要素であることは紛れもない事実です。ただし、私たち大人が勝負だけにこだわると、子どもたちの主体性や成長、純粋な楽しさを奪うことに繋がりがかねないという危険を認識する必要があります。そこで今年度は札幌地区の私たち大人の、勝敗に対する捉え方考え方のマインドリセット、子どもも大人も楽しみながら成長する所謂「育成マインド」の共有を図る1年としたいと思います。そのための改善の方向性、具体の主軸を「U12 部会の組織改革」と「バスケットボールを楽しめる競技会の計画・運営」の二つといたします。

一つ目の組織改革では、子どもたちや指導者、保護者の思いを実現するために運営体制の見直しと改善を図ります。役割の細分化や明確化、各ブロックと部会、ブロック間の連携強化、運営再編を進め、たとえ時間はかかっても、将来的に巡り巡って子どもたちの育成が加速するような組織改革です。

二つ目のバスケットボールを楽しめる競技会の計画運営では、勝利を目指しつつもそこだけにこだわるのではなく、「勝利」と「成長」の両方を求める姿勢を大切にいたします。なぜなら私たちアンダーカテゴリーでは、「勝利」以上に「成長」を追求する責任に重きを置くべきであり、選手はもちろん、大人にも学びと楽しさのある協議会運営が必要だからです。育成をねらいとした競技会、そして質の高い指導・支援のあり方の普及事業などを実施します。

今年度は私たちの思いを発信しつつも皆さんの思いに寄り添い、声に耳を傾けながら、「札幌地区 U12 カテゴリーの思いを共有しより一つになる」という願いを実現できるよう努力してまいります。ぜひ、理念の共有と皆様のご理解ご協力を心からお願いいたします。

終わりになりますが本日の総会に向けて、年度末年度初めの大変忙しい中、部会員はそれぞれ自分の時間を使いこれまで準備を進めてまいりました。本日の総会に限られた時間で円滑に進み、そして充実した時間となりますよう皆様のご協力をお願いいたしまして、挨拶を終わります。ありがとうございました。それではどうぞよろしくお願いたします。